

# 情報の入手に 2か所の図書室を紹介

本はあなたが来るのを待っています



## 読書週間

日の出が遅くなり、日没が早くなつたと実感する季節になりましたが、先人の多くの方もきつと同様な気持ちを抱いていたことでしょう。

日本には古くから、秋の夜長を憂いたり、逆に楽しんだりする文化がありました。

ところで、10月27日から11月9日まで読書週間ですが、皆さんは本を何冊読みましたか。一冊も読まなかった人や

一日に何冊も読んだ方などさまざまだと思いますが、夜が長いこの時期に限らず、日ごろから本と接することは大切です。

読書週間の歴史は古く、大正13年（1924年）に日本図書館協会が11月17日から23日を「図書週間」と定め、昭和8年（1933年）に「図書週間」と改称。戦争で一旦廃止されましたが、終戦後の昭和22年（1947年）に第1回「読書週間」が行われ、その後11月3日の「文化の日」をはさみ、期間が2週間に延長されて現在に至っています。「読書週間」は、国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民の国」になりました。

いま、電子メディアの発達によって、世界の情報伝達の流れは大きく変わろうとしています。本はその人の人間性を育て、かたちづくるのに重要な役割を果たすことになりません。

今年の読書週間のポスター

